

2026年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：ファイナンス特論		専修：経済専修
担当教員名：國方 明		科目区分：展開科目
<p>授業科目概要：</p> <p>本科目では、ファイナンスにかかわる経済理論を教える。ファイナンスは、インベストメント(証券等投資)と、コーポレート・ファイナンス(企業金融)の2つに大きく分かれる。本科目では両者を教える。インベストメントを重点的に教える予定である。しかし履修者の要望などによって、コーポレート・ファイナンスの比重を高める可能性がある。</p>		
<p>履修上の留意事項：</p> <p>あらかじめミクロ経済学特論I、ミクロ経済学特論II、統計学特論および金融経済学特論の全ての単位を取得していることが強く望まれる。もし、これら科目の単位を取得していなければ、各科目のシラバスで指定されている教科書などを使って自習してほしい。</p> <p>トピックによって、数学と統計学の知識を使う。数学などに苦手意識のある人は、履修登録の前に、青森公立大学図書館で教科書や参考書(特に手嶋(2011))を一読して、履修の可否を判断してほしい。</p> <p>担当教員が遠隔地にいるため、遠隔授業を予定している。</p>		
教科書・参考書 (参考文献)		
<p>教科書</p> <p>書名：『ファイナンス論 入門から応用まで』</p> <p>著者：大村 敬一</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2010年</p> <p>新品購入可能、青森公立大学図書館に所蔵済み。</p>	<p>参考書</p> <p>書名：『基本から本格的に学ぶ人のためのファイナンス入門』</p> <p>著者：手嶋 宣之</p> <p>出版社：ダイヤモンド社</p> <p>出版年：2011年</p> <p>新品購入可能、青森公立大学図書館に所蔵済み。</p>	
<p>参考書</p> <p>書名：『証券論 新版』</p> <p>著者／編者：大村敬一・俊野雅司</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2025年</p> <p>新品購入可能、青森公立大学図書館に所蔵済み。</p>	<p>参考書</p> <p>書名：『入門・証券投資論』</p> <p>著者／編者：岸本直樹・池田昌幸</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2019年</p> <p>新品購入可能、青森公立大学図書館に所蔵済み。</p>	
<p>参考書</p> <p>書名：『ベーシック+ ファイナンス』</p> <p>著者／編者：井上光太郎・高橋大志・池田直史</p> <p>出版社：中央経済社</p> <p>出版年：2020年</p> <p>新品購入可能、青森公立大学図書館に所蔵済み。</p>	<p>参考書</p> <p>書名：『なるほどファイナンス』</p> <p>著者／編者：岩壺健太郎</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2023年</p> <p>新品購入可能、青森公立大学図書館に所蔵済み。</p>	
ディプロマ・ポリシー (DP) との関係		
DP1	DP2	DP3
○		

<p>到達目標：</p> <p>この授業が終わったときに、履修者が以下のような知識と能力を身につけることを目標にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リスクの定義とリスク管理の意義を、他人に適切に説明できる。 ● ベータ値の計算式を適切に導出でき、ベータ値の意味を他人に適切に説明できる。 ● 資金を運用する際のパフォーマンス指標を3つ、他人に適切に説明できる。 ● デリバティブの例を3つ以上挙げられる。 ● MM命題とその修正を、他人に適切に説明できる。 	
<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>次の(ア)および(イ)を総合して、100点満点で点数化する。試験は実施しない。</p> <p>(ア) 授業における活動や貢献 (イ) 課題1回</p> <p>(ア)と(イ)の内容及び配点を、授業で伝える。</p> <p>60点未満をF、60～69点をC、70～79点をB、80点以上をAとする4段階とし、C以上の評価に単位を与える。</p>	
<p>授業の方法：</p> <p>教科書の輪読、または、担当教員による講義のいずれかで実施する。履修者が多い場合は輪読を、履修者が少ない場合は講義を、それぞれ採用する予定である。担当教員が遠隔地にいるため、輪読と講義のいずれの場合も遠隔授業とする。</p> <p>学期中に1回、課題を実施する。課題内容は次の予定である。担当教員が、ファイナンスにかかわる学術論文またはレポートを数本配布する。各履修者は、それらの中から1本を選び、その要約を作成する。課題の詳細は授業内で説明する。</p> <p>履修者の関心などによって、下記の授業計画を変更する可能性がある。</p>	
第1回 ～ 第3回	<p>テーマ：現代ファイナンスの問題意識</p> <p>内 容：ファイナンスの主要な関心事である、リスクとその管理を理解する。</p> <p>教科書の第1章と第2章</p>
第4回	<p>テーマ：ファイナンスの歴史</p> <p>内 容：ファイナンス理論を構成する主要な学説を展望する。</p> <p>教科書の第4章</p>
第5回	<p>テーマ：確実性下での基礎理論</p> <p>内 容：現代ファイナンス理論は、不確実性下における投資家の意思決定に注目する。その前段階として、確実性下における投資家の意思決定を学ぶ。</p> <p>教科書の第5章</p>
第6回 ～ 第8章	<p>テーマ：インベストメント1 平均・分散アプローチ</p> <p>内 容：不確実性下でのインベストメントにかかわる基礎的理論を学ぶ。</p> <p>教科書の第6章と第7章</p>
第9回 ～ 第11章	<p>テーマ：インベストメント2 CAPMとパフォーマンス評価</p> <p>内 容：現代ファイナンス理論が生み出した最大の成果と言っても過言でない、CAPMを理解する。</p> <p>教科書の第8章と第9章</p>
第12回 第13回	<p>テーマ：インベストメント3 デリバティブの理論</p> <p>内 容：デリバティブの機能や価格付けにかかわる理論を学ぶ。</p> <p>教科書の第11章と第12章</p>
第14回 第15回	<p>テーマ：コーポレート・ファイナンス</p> <p>内 容：MM命題を中心に、コーポレート・ファイナンスの基礎を学ぶ。</p> <p>教科書の第14章と第15章</p>